

仕事と子育てを両立しながら働き続けられる職場環境づくりの促進

県では、企業による子育てをしながら働きやすい職場づくりを促進するため、様々な支援制度を設けています。県内企業の仕事と育児・家庭の両立支援のための取組をご紹介します。

『子どもお仕事参観日』を開催しませんか

仕事と育児・家庭の両立支援の取組のひとつとして、従業員の子どもを職場に招く『子どもお仕事参観日』の開催を働きかけました。『子どもお仕事参観日』は、子どもたちと職場の方々が交流することで、お互いに大事な家庭があり、助け合わなければと再認識できる日です。

●三又建設株式会社(横手市)【建設】

参観日の内容

- 工事の説明
- 工事現場見学
- お仕事体験
(交通誘導の旗振りなど)



社用車を使用した交通誘導体験▶

◀ 部長さんから会社のお仕事やパパたちの役割を説明してもらいました



従業員の声

- 休みの日に工事の様子を確認するなど現場に連れてきたことはあるが、このように近くで現場を見せるのは初めてのこと。
- もっと子どもが体験できるような現場であれば、違う見せ方ができなお良かったと思う。

企業の声

- 現場での仕事であるため休みの従業員がいれば人手は減るが、皆で協力して回している。
- 参観日の開催で、普段とは違うパパの格好良い所を見せられたのでは。別の体験ができそうな現場もあるので、次の機会の参考にしたい。

●株式会社フロム・エー(秋田市)【製造】

▼ 断裁機の実演を見学



▲ パパと一緒に年賀状づくりを体験しました

参観日の内容

- 会社の説明
- 工場内見学
- お仕事体験
(カレンダー、年賀状作成)

従業員の声

- 共働きのため、子どもの行事等ではどちらかが休みをもらって対応している。家族皆での行事は多いが、自分と今回参加した子だけが一緒に何かしたのは初めてのこと。2人の良い思い出になった。

企業の声

- 参観日はとても良い試み。このような形で子どもたちを受け入れたのは初めてだった。
- 両立支援に取り組むことは社外へのアピールになるのでは。開催中は断裁の実演や子どもたちへの声かけなど、周りの従業員が協力的だったと思う。

パパの子育てを応援しています！

積極的に育児をしたいと考える男性が増えてきています。

職場でも、ノー残業デーの実施や休暇の柔軟な取得など“働き方の見直し”により仕事と子育てを両立し、家族との時間を過ごせるような環境づくりにご理解とご協力をお願いします。

こんな取組例があります

○朝礼時等での意識啓発

早めに仕事に区切りをつけて
定時退社できるよう
お互い協力しましょう！



○掲示板やメール等での意識啓発



(掲示物イメージ)

企業による実践例と効果

企業による実践例と、それに伴う効果の一例をご紹介します！

○誕生月休暇の制度

- ・誕生月の任意の日に、有給休暇を1日取得する仕組み

企業への効果

→休暇取得率や業務効率の向上、職場のコミュニケーションの活性化につながった

従業員への効果

→家族と過ごす時間ができたほか、仕事のモチベーションが上がった

○部署を越えた委員会活動

- ・部署の垣根を越えて従業員が各種委員会に参加
- ・それぞれが立案した課題に自由に取り組む仕組み

企業への効果

→従業員の潜在能力に光を当て、通常の業務や部署を越えた交流や、新しい可能性を発見するきっかけができた

従業員への効果

→お互いを気遣い、何かあったらカバーし合える職場の空気が醸成された

○ノー残業デーの“カイゼン”

- ・従来は毎週水曜であったノー残業デーを、仕事の状況に応じてほかの曜日とし、従業員個々人が宣言する試み

企業への効果

→残業の習慣化に歯止めをかけ、定時退社できる働き方を目指すことができた

従業員への効果

→効率よく仕事を切り上げることで、家族と過ごす時間が増えるなどリフレッシュにつながった

○パートナー制による休暇の効率的な取得

- ・2人1組のパートナー制で、業務内容を共有・分担する仕組み

企業への効果

→仕事の責任感が増し、効率も上がるなど、優秀な人材の育成につながった

従業員への効果

→パートナーとカバーし合うことで、お互いの休暇取得や業務もスムーズになった